



みなみの風

『学校教育目標』 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる子の育成
重点目標「生き生きわくわく」～言葉を大切に、豊かな関わり・確かなつながりをとおして～

【発行日】
令和7年11月28日
【発行者】学校長



富士山の雪化粧もすっかり整い、冬本番を迎えました。昨今は、「四季」ならぬ「二季」という言葉も出回り、楽しみにしていた秋が本当に短かったと感じています。

2学期も残すところわずかとなりました。現在、インフルエンザによる欠席が一定数おり、予断を許さない状況ですが、猛暑の時期には叶わなかった外遊びを楽しむ子どもたちの姿を見ていると、とても清々しくなります。残りの期間も、安全を念頭におき学校生活を過ごせるようにしていきたいと思います。

学年合唱をとおして ～何を得たのか～

学校公開時に、学級閉鎖がある当該学年を除き、みなみ風コンサートのプレ発表を行いました。いかがだったでしょうか。保護者からご感想をいたたく場面あり、その中でありがたい言葉をいただき、子どもたちも学級担任も励みになりました。

私は、このコンサートをゴールとするのではなく、合唱を経験したこと、何を得たのかを共有することが最も大切だと思います。ご家庭でも、ぜひ話題にしてみてください。

笑顔がある学級の特長 ～担任の存在の大きさ～

過日、町内幼稚園の研修に参加させていただきました。これまで何度も参観させていただきましたが、どの市町のどの園にも共通していることは、先生はいつも笑顔であり、常に気持ちよい挨拶をされているということです。

そうした先生方の好影響もあり、子どもたちにも笑顔が多く、丁寧で気持ちよい挨拶ができているのです。保護者から見て、本校の職員はいかがでしょうか？笑顔を絶やさない人でありたいものです。

仲間とともに遠足・校外学習に行ってきました【1～3年生】

子どもたちにとって、校外に出ていつもとは違う環境で過ごすことはとても魅力的です。その一つが遠足や校外学習になります。もちろん学校としては意図的に学びを設定し、校外でなければできないことを企画しますが、子どもたちにとっての楽しみの一つは、間違いなくお弁当とおやつの時間なのは昔と変わらないと思われます。11月に入り、1～3年生が遠足・校外学習に行ってきました。「ドキドキ」「ワクワク」みんな本当に楽しそうです！お弁当の準備やおやつの買い物など、ご支援くださいありがとうございました。



1年生 遠足
令和7年11月6日(木)
県立おだわら諏訪の野原公園
(大雄山線に乗って)



2年生 遠足
令和7年10月31日(金)
吾妻山公園(小田急線・JR線に乗って)



3年生 校外学習
令和7年11月20日(木)
横浜港シンボルタワー
はまぎんこども宇宙科学館(バスに乗って)



酒匂川の歴史を学ぶ ～霞堤ってすごい！～

4年生が、足柄の歴史再発見クラブの方を講師としてお招きし、主に酒匂川の歴史について学ぶ機会がありました。

社会科では、近隣の学校も含め、足柄平野と酒匂川のこれまでの歴史を学ぶことになります。とくに、酒匂川は多くの恵みを与えてただけでなく、洪水などの災害ももたらしました。そのような中、今回の学びの中では「霞堤」について、感心させられた子が多くいたようです。



授業を学びに行きました ～藤枝市立小学校を視察～

先月になりますが、何人かの教員と平日に休みを取り、藤枝市の小学校に授業の在り方を学びに行きました。

6年生の国語の授業でしたが、今求められている子どもたちの主体性が存分に發揮されている場面が数多くあり、とても刺激を受けました。加えて、子どもたちが自分の思いを書き表した掲示物を見てさらに驚いたのは、その文章量と思いを表し方です。「書く」という資質に課題があると捉えている学校が多い中、とても鍛えられているなと感じました。

本校の授業研究は、算数科と総合的な学習の時間を窓口にしていますが、まだ道半ばです…。

大根を育てているよ ～2年生からのプレゼント～

右下の写真は、大根の収穫時に間引いた大量の大根をもってきてくれた2年生の様子です。

今年も県立吉田島高等学校の先生のご支援をいただき、無事に立派な大根が育ちました。なかには、思うような大きさにはならず、残念な顔をする子も見られましたが、そこは切り替えの早い2年生。友達が大きな大根を収穫した時に、一緒に喜んでいました。

ちなみに、いただいた大根の葉は、家でごま油で炒めておいしくいただきました。



通学路は大丈夫？ ～守らないと大変なことに…～

登下校時に、地域の方々が見守りボランティアとして多くかかわってくださることと、もちろん子どもたちが安全に気を付けて歩いていることにより、今年も大きな事故がないことに胸をなでおろします。子どもがけがをしたり、ましてや命を落とすことがあると、学校はあつという間に暗闇に陥り、雰囲気が落ち込んでしまいます。

ただし、通学路を守っていないという報告を時折聞くことがあります。通学路は指定されているもので、守っていない時に何か有事があった際には、不利益を被る可能性もあります。今一度、お子さんと通学路順守の再確認をお願いします。

学校公開にお越しください、ありがとうございました

ご多用のところにも関わらず、26日の学校公開に大勢の方々にお越しくださいありがとうございました。今回も、9割近い参観率であったという報告がありました。まだまだ改善の余地がある授業が散見されたと思いますが、よりよい学びを保障していくために邁進していきます。本校は保護者や地域の方々に支えられていることを改めて実感していますので、引き続きご支援をよろしくお願ひいたします。

「子育てアラカルト⑯～心に扉があるとすると(前編)～」

以前、先輩の先生に2冊の本を紹介されました。実は、私は本を読むことをあまり得意としておらず、日頃、書籍を購入したり借りたりすることがさほどありません。しかしながら今回は、直接お話しした際に、「それは読んでみたい」と思い、すぐに書店に出向きました。そのうちの一冊「ケーキの切れない非行少年たち」(新潮新書)に書かれていたことをもとに、今号と次号にわたりお伝えいたします。

いわゆる非行少年は、更生保護施設において、時間をかけて、形だけの反省から本気の反省を見せるようになり、そこには、「変わろうと思ったきっかけがあった」ということが共通しているようです。きっかけとなったその10点とは、

①家族のありがたみ、苦しみを知ったとき ②被害者(相手)の視点に立てたとき ③将来の目標が決まったとき ④信用できる人に出会えたとき ⑤人と話す自信がついたとき ⑥勉強が分かったとき ⑦大切な役割を任されたとき ⑧物事に集中できるようになったとき ⑨最後まであきらめずにやろうと思ったとき ⑩集団生活の中で自分の姿に気が付いたとき と書かれていました。

以上のことを整理すると、「自己への気付き」と「自己評価の向上」が鍵となります。よって、周りの大人や仲間の存在がどれだけ大きいか、改めて考えさせられます。

(つづく)